

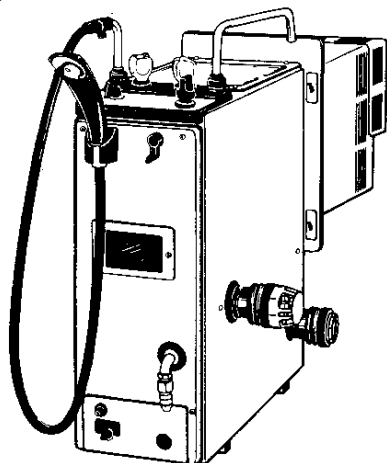


大阪ガス

《シャワー・上り湯付》 ガス バランス型外だし釜 取扱説明書

31-860・861型
31-862・863型

保証書付



ガスゴム管も
ときどき点検
よいゴム管を
カッチリと



使用中は、熱
くなります。
手をふれない
てください。



空だきには十分
注意しましょう。



ガス器具は
ガスの種類にあった
正しいものを

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスの〈シャワー・上り湯付〉バランス型外だし釜をお求めいただき、ありがとうございました。

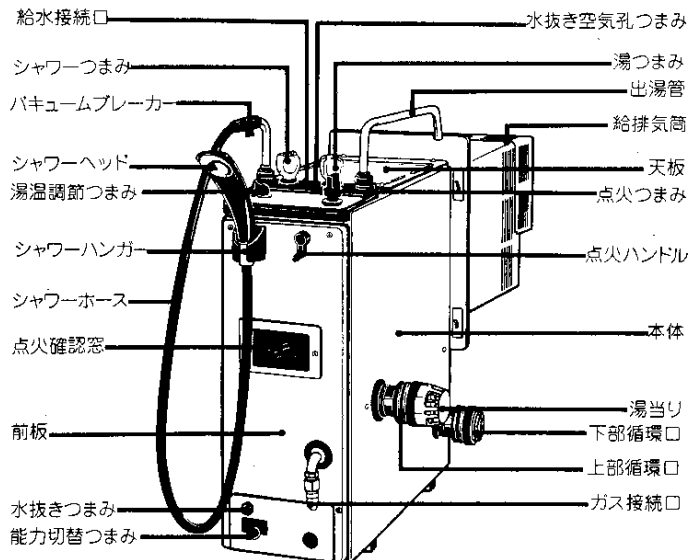
この「取扱説明書」をよくお読みになって、器具を正しく使っていただき、別添の保証書とともに大切に保管してください。

もくじ

・各部の名称	1
・特に注意していただきたいこと	2
・設置状態の確認	9
・ご使用法	11
・凍結による器具の破損を防ぐために	15
・安全装置が作動したときの処置方法	16
・日常の点検とお手入れ	17
・故障、異常の見分け方と処置方法	19
・保管（長期間使用しない場合）	21
・アフターサービスのお申し込み	21
・特長	22
・仕様	24

●ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

各部の名称



※本図は31-860型を示す。(31-862型)

※31-861型の場合(31-863型)

(1)給水配管接続口と水抜き空気孔つまみが、本図より位置が逆になります。

(2)出湯管(蛇口側)と(シャワー側)が、本図より位置が逆になります。

(3)能力切替つまみが本図より位置が逆になります。

特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくためにこの項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

・ガスの種類を確かめてください。

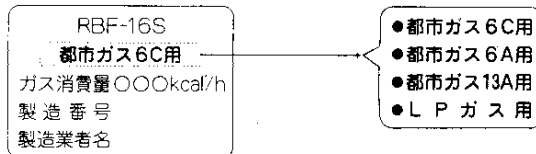
※風呂釜の器具正面下側に貼付されている銘板に表示してあるガスの種類とお宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。

※ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。大阪ガスが供給しているガスは、都市ガス6C(4500kcal)都市ガス6A(7000kcal)都市ガス13A(11,000kcal)の3種類です。

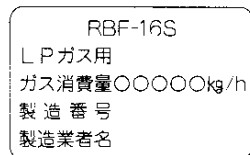
※転宅されたときは供給ガスの種類と銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

※一致しないときは、お買い上げ店、大阪ガス支社またはガスサービスショップなどにご連絡ください。

都市ガス(6C)の銘板(例)



LPガスの銘板(例)

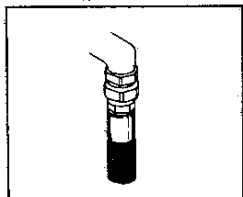


特に注意していただきたいこと ②

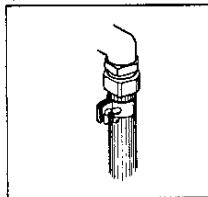
使用上のご注意

①ガス漏れ予防

(イ)ネジ接続の場合



(ロ)ゴム管接続の場合

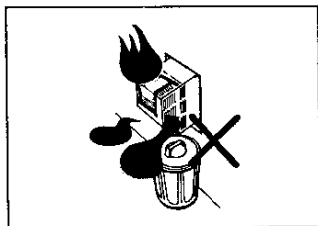


ゴム管をホースエンドに十分差込んで、ゴム管止めでしっかり止めてあるか確かめてください。

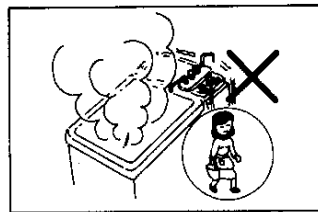
ゴム管や器具とゴム管との接続部からガスがもれていないか、ときどき石けん水などで調べてからご使用ください。

②火災予防

- 給排気筒の上やそばに燃えやすいもの(紙、カーテン、ポリバケツ、ゴミ箱、揮発油など)を絶対においたり、近づけたりしないでください。



- 火をつけたままです寝、外出は、絶対にしないでください。

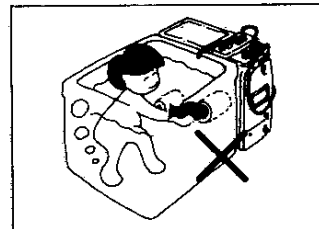


特に注意していただきたいこと ③

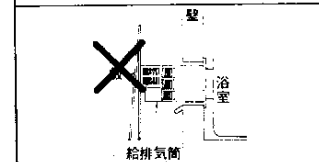
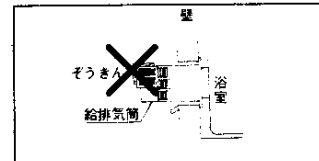
③過熱予防

(1)循環パイプについて

- 風呂釜と、浴そうを接続している上下の循環口をタオルなどで、ふさがないようにしてください。お湯が循環しなくなり、器具が過熱して危険です。



- 排気トップの上や器具本体に物をのせると、給気口や排気口がふさがれ、不完全燃焼の原因にもなり、過熱の危険がありますから絶対にのせないでください。



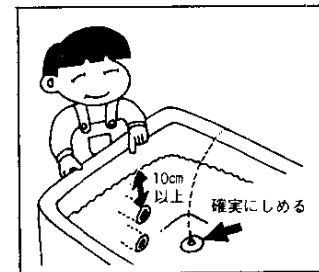
(2)空だき注意

お風呂を空だきさせないようにご注意ください。そのために次のことを必ず実行してください。

※浴そうの排水栓は確実にしめてください。

※風呂釜に点火する前に、もう一度水面が上部循環口より10cm以上高くなっているか確かめてください。

※万一空だきしたときは、15分程まってから上部循環口より10cm以上水を入れて、水もれなど異常のないことを確認してから再点火してください。

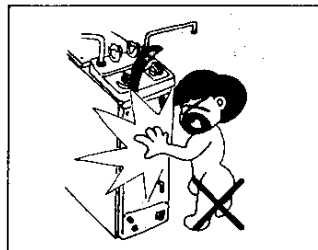


特に注意していただきたいこと ④

③やけどのご注意

ご使用中、および使用直後は給排気筒や器具本体と天板部とその周辺は熱くなりますので、手を触れたりしないでください。

特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。

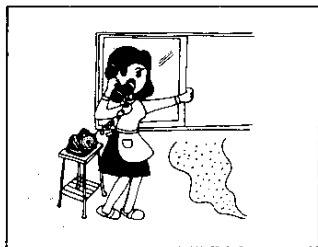


④換気のご注意

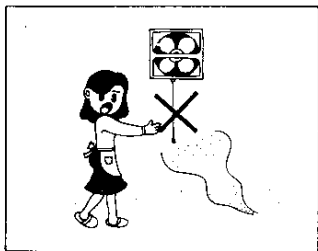
お部屋の換気口は常に確保し、物などでふさがないようにしてください。

⑤ガス事故防止

・ガスもれに気づいたときはすぐ使用をやめ、ガス元せんを閉じ、窓を開けて換気を行い、販売店、もしくは大阪ガス各支社にご連絡してください。



・万一ガスがもれたときは、絶対に火をつけたり、換気扇その他電気器具にふれたり（スイッチの入、切や電源プラグの抜き差し等）しないでください。火や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。



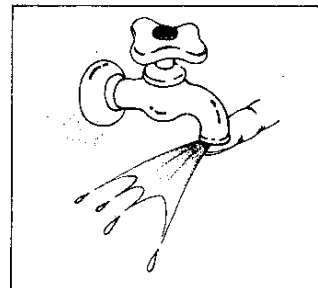
特に注意していただきたいこと ⑤

⑥給水圧力について

この器具をご使用になる場合は、最低0.7kg/cm²の作動水圧が必要です。これより低いところでは使用できませんので水圧が十分あるか確かめてください。

例えば目安として次のような方法で水圧の確認ができます。

お台所の蛇口の水を出して指で強く押えてみます。水がとまってしまうようでしたら、水圧は低すぎます。指の筒から水がいきおいよくでるくらいでしたら、水圧はまず十分です。

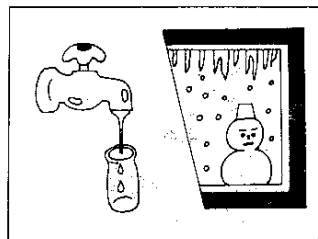


⑦使用後の処置

・器具をご使用にならないときや、外出前、またおやすみの前には、万一の事故がないように必ず元せんをしめてください。

・冬期の凍結防止

冬期器具内の水が凍るおそれのあるときは、凍結による器具の破損を防止するために、水抜きを必ず行うか、給湯蛇口から水を出しっぱなしにするかなどして、凍結を防止してください。詳しくは15ページを参照。



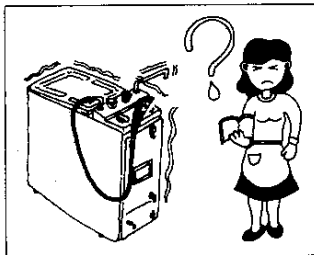
⑧健浴剤や洗剤についてのご注意

※イオウ、酸、アルカリを含んだ健浴剤や洗剤は熱交換器が腐食する原因となりますので使用しないでください。

特に注意していただきたいこと ⑥

⑨異常時の処置

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときはそのままお使いにならず、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。(故障・異常の見分け方と処置方法は19ページをお読みください。)



⑩その他のご注意

・はじめて使用されるとき、または修理後使用されるとき

はじめて使用されるとき、または水抜きをされた場合、または長時間使用しなかった場合には、パイロットバーナーに点火する前に必ず水道の元せんを開けて通水し、配管中の空気を追いだして、(出湯管から水がスムーズに流れることを確認してから)ご使用ください。湯沸しの空だきによる器具の損傷を防ぎ、また点火直後に起るメインバーナーの消火を防ぎます。

・器具前面の「点火確認窓」をはずしたままでは絶対に使用しないでください。(ガラスが割れたり、確実にハマっていないと排気が浴室に入ったり、不完全燃焼でガス中毒の原因になることがありますので、修理がすむまで使用しないでください。)

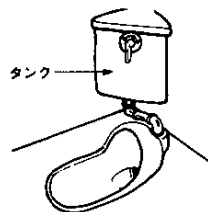
・器具のご使用を中断されるときは、器具の点火つまみを(止)の位置にもどし、必ず浴室の元せんを開めてください。また浴室の元せんは、ご使用前に開けるようにしてください。

・シャワー・出湯管のいずれかで使用する場合、使い初めではぬるく、継続して使用する場合はあつい湯が出ますから、出はじめの湯を直接身体にかけないで湯温が安定してからご使用ください。

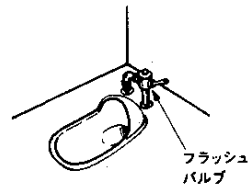
・朝一番にお使いになるときは熱くならない箇の水は飲用に用いないでください。

特に注意していただきたいこと ⑦

- ・浴室の排水に気をつけて、器具を冠水させないようにご注意ください。
- ・器具の操作部に水が入ると故障の原因になります。シャワーホースや洗面器などで器具に水をかけないようにしてください。
- ・点火つまみは必ず■および●印に合わせてください。中間の位置では火がつかなかったり、ついても不完全燃焼して、ススがたまり故障の原因になります。
- ・浴室の洗濯機などの排水をされる場合、洗濯の排水が直接器具にかかると器具をいためる原因になりますのでさけてください。
- ・能力切替つまみはきちんと(大)(中)(小)の印に合わせてください。中間の位置ではとめないでください。
- ・給湯器を使用中(特にシャワー使用中)水洗トイレをお使いになりますと、湯温が急に変化する場合があります。図-1Bのような水洗トイレの場合は、特にご注意ください。



【図-A】
タンク式の場合は問題ありません。



【図-B】
フラッシュバルブの付いている場合には、水道直結配管になっていますので、給湯器に影響があります。

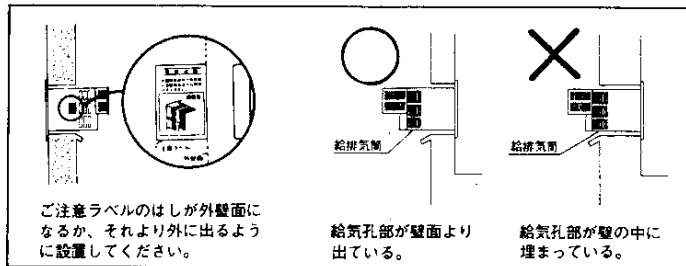
⑪日常の点検・お手入れ

器具を安全、快適にお使いいただくために、日常の点検、お手入れは必ず行ってください。(点検、お手入れの方法については17ページをお読みください。)

設置状態の確認

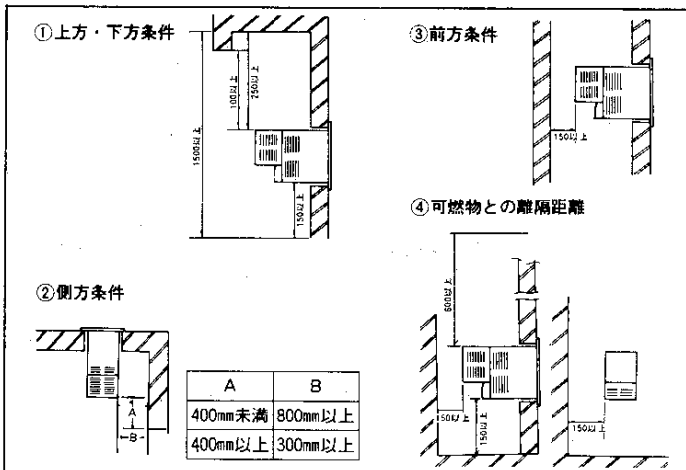
- ・この製品を使用する場合は設置基準に従って設置してあるか確認ください。
- ・くわしくは同梱の工事説明書を参照してください。

1 給排気筒は必ず外気に面した場所に取付けて、障害物がない開放空間であるか確認してください。



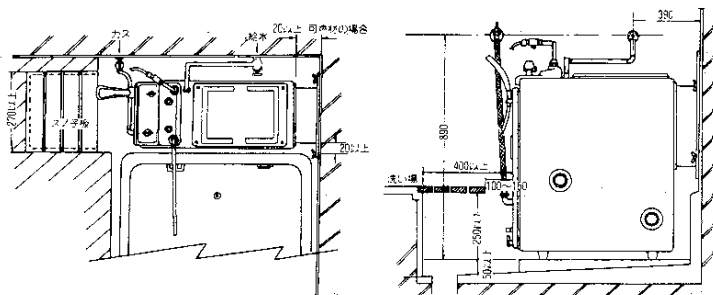
※ベランダ等に給排気筒が取付けてある場合は

- 側方は80cm以上、前方は60cmまたは下方は20cm以上に障害物を離してください。



設置状態の確認②

- 機器と給排気筒はすべて検定合格となった組合せでなければ使用できません。指定以外の場合の販売店や、施工者が独自につくることは禁止されています。機器と給排気筒の組合せが一致していることを確かめ、正しく取り付けであるか確認してください。
- ユニットルームなど浴室の床が合成樹脂製のものに設置されている場合は、風呂釜に遮熱板および追加脚を使用して据付してあるか確認してください。
- 防水パンのように、一般に排水時に釜据付台が低く、釜が水につかりやすい場合、釜及び浴そうは2cmの追加脚をつけてください。
- 給水は、ユニオンジョイントを接続してあるか確認してください。修理の際分解できるようにしてないと思わぬ手間がかかることになりますので注意してください。
- 洗場が機器の据付面より高くなる場合、機器据付台より前方40cm以上、機器の点検修理のためあけてあるか確認してください。
- ※洗場が据付台より高くなるのは、25cm以下でないと点火確認がしにくくなります。
- ※器具を長持ちさせる為にもなるべくおとしこみ設置はさけてください。
- 機器、浴そう据付台の高さは、排水時など底部分に水がつかないように、3～4cm以上高くなければ器具を早くいためます。



ご 使 用 法

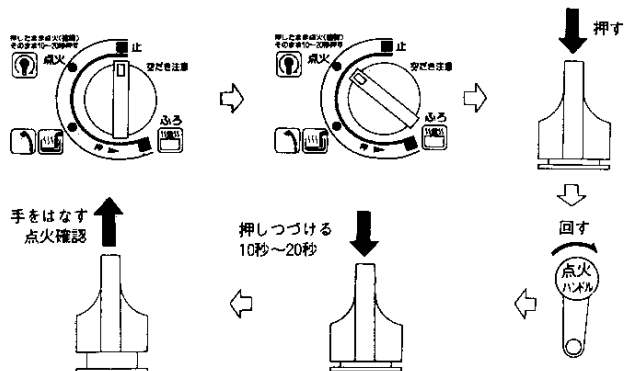
この風呂釜は給湯器付です。水から沸すより、浴そうへ給湯してから追いだきしてご使用ください。

〈ご注意〉

風呂の追いだきができるのは、浴そうのお湯(または水)が湯当りの上10cm以上ある場合に限りです。

① 点 火

- ① 点火つまみが **止** の位置にあることを確かめて、浴室の元せんおよび水道の元せんを開けます。
- ② 点火つまみを、左へ **点火** の位置まで回し点火つまみを押し込んで点火ハンドルを右へ数回、回しますと、パイロットバーナーが点火します。
- ③ 点火確認窓からパイロットバーナーの点火を確かめて、そのまま10～20秒程押し続けてください。
- ④ 手をはなしてもパイロットバーナーが点火していることを確認してください。



〈ご注意〉

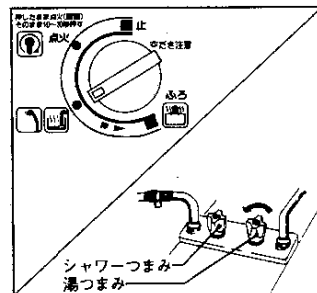
- 押している時間が短いと、手をはなしたときパイロットバーナーが消えることがあります。消えたら②③の操作をくりかえしてください。
- 長時間使用を中止した後にご使用になる場合には、配管中のガスが空気に置換されてガスの出かたがおくれて点火しにくいことがありますから、②の点火操作を数回くりかえしてください。

ご 使 用 法②

② お湯を使う場合

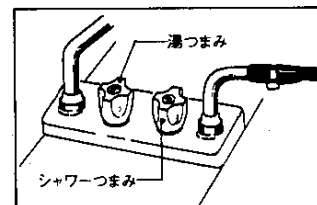
(1) 浴そうへ給湯とあがり湯を使う場合

- ① 点火つまみを **止** の位置に正しくあわせませう。
- ② パイロットバーナーが点火していることを確かめた上で、湯つまみ(蛇口側)を開きますと、メインバーナーがついて出湯管よりお湯がでます。
- ③ 湯つまみ(蛇口側)を閉めますと、メインバーナーが消えてパイロットバーナーが残ります。



〈ご注意〉

風呂釜の左側に浴そうを設置される場合は、右図のように
① 出湯管(蛇口)とシャワー側が右図の逆の位置になります。

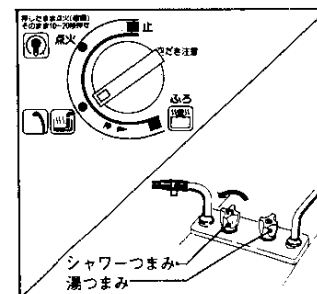


(2) シャワーを使う場合

〈ご注意〉

シャワーだけ使うことができますが、シャワー使用中に出湯管側のお湯を使いますと、シャワーの湯量に変化し、快適なシャワーが使えなくなるのでなるべくさけてください。

- ① 点火つまみを **止** の位置に正しくあわせませう。
- ② パイロットバーナーが点火していることを確かめた上で、シャワーつまみ(シャワー側)を開きますと、メインバーナーがついてシャワーよりお湯がでます。
- ③ シャワーつまみをしめますと、メインバーナーは消えてパイロットバーナーが残ります。

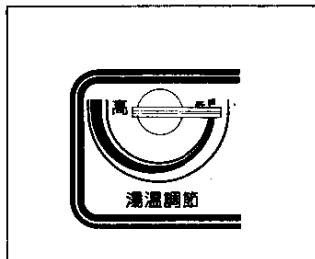


ご 使 用 法③

※湯の温度は湯温調節つまみで調節してください。

＜ご注意＞

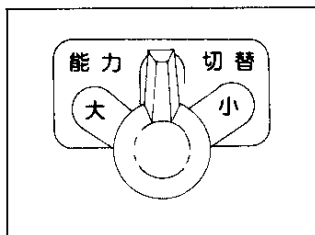
- 湯温調節つまみを「低」の方へ回すと湯量がふえ、ぬるくなり、「高」の方へ回すと湯量がへり、熱くなりますから、ゆっくりと少しずつ回し、お好みの湯温に調節してください。
- シャワーつまみ・湯つまみでは湯温調節できません。
- シャワーつまみ・湯つまみは必ず全開でお使いください。



※湯の温度が、湯温調節つまみで調節してもあつすぎる時は、能力切替つまみを(中)、または(小)の方へ、合わせてから湯温調節つまみで調節してください。

＜ご注意＞

能力切替つまみを(大)と(中)・(中)と(小)の途中でとめないでください。



③風呂を沸かす場合(追だし)

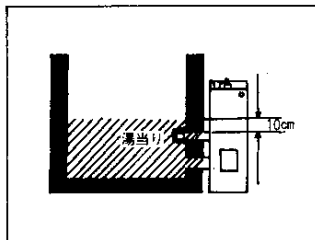
この風呂釜は追だし用に設計されています。

最初は浴そうへ給湯してください。もし浴そうへ水を入れてから沸かす場合は時間が長くなります。

1 浴そうのお湯(または水)が、湯当りの上10cm以上あることを確かめてください。

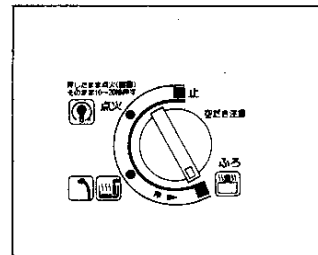
＜ご注意＞

お湯(または水)が少ないと、空だき状態となり釜の寿命を短くします。
この状態を長く続けると危険です。
水位には特にご注意ください。



ご 使 用 法④

2 点火つまみを押し込んで  の位置に正しくあわせてください。
メインバーナーに点火して追だしはします。



＜ご注意＞

万一、メインバーナーが消火したとき、点火つまみを「止」にもどし、水量を確かめ約3分間まってから操作手順にしたがい再点火してください。

3 追だきを止めるときは点火つまみを   の位置に戻してください。
風呂のメインバーナーが消えて、パイロットバーナーが残ります。

水を使う場合次の2つの方法がありますから必要に応じて使いわけてください。

① 点火つまみを「止」の位置にする。

② 点火つまみを「点火」の位置にする。

※①②のどちらの場合でも、湯つまみ・シャワーつまみを開ければそれぞれ水がでます。

＜ご注意＞

- 点火つまみを「点火」の位置でご利用の場合は必ず位置を正しく合わせてください。
- 水量の調整は全て湯温調節つまみで行ってください。

④消 火

① 湯つまみ、シャワーつまみをしめる。

② 点火つまみを「止」まで回すと、パイロットバーナーが消えます。

※消火直後、再び使用するときには必ず点火順序に従って操作してください。

＜ご注意＞

- 消火したことを「点火確認窓」から確かめてください。
入浴がすんでおやすみになる前、お出かけのときは、水道も浴室の元せんも必ずしめてください。

ご使用方法⑤

⑤朝一番にお使いになるときは、熱くならない間の水は、飲用に用いないでください。

●凍結予防装置(水抜き)の操作手順

水がはるような寒い時、または寒冷地でご使用の場合は、使い終わってから必ず次の順序で水抜きをして、凍結による器具の破損を予防してください。

(入居前や長期不在の場合も同じ操作をしてください。)

- ①器具の全てのつまみ類、およびガスの元せんをしめます。
- ②水道の元せんをしめます。
- ③湯つまみ(出湯管側)をあけて湯温調節つまみを「低」にします。
- ④シャワーヘッドを床面まで下げます。
- ⑤水抜き空気孔つまみ(本体上部の給水接続口の横)を左に回してゆるめます。
- ⑥水抜きつまみを左に回すと、器具内部の水が抜けます。

〈ご注意〉

- ・上の①～⑥は次にお使いになるときまでそのままにしておいてください。
- ・再度使用されるときは、水抜きつまみ・水抜き空気孔つまみ・シャワーつまみを閉めたのち、水道元せんを開いて出湯管から水が出るのを確かめたのち出湯つまみを開けてからガスの元せんを開け点火操作を行ってください。
- ・入居前や長期不在の場合は①～⑥の操作に加えて、浴そうの水も抜いてください。
- ・寒冷地では水・湯の配管中に必ず水抜き用水栓をつけてください。

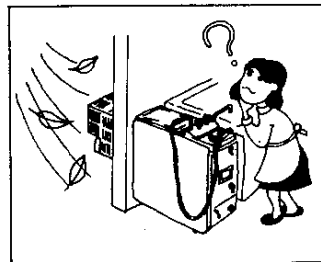
〈凍結したときは〉

- ・器具や配管が破損し、高額のコストがかかる場合があります。(有償)
- ・凍結したまま使われますと、器具に異常を生ずる場合があります。凍結が溶けた後、水もれがないのをご確認の上、ご使用ください。

安全装置が作動したときの処置方法

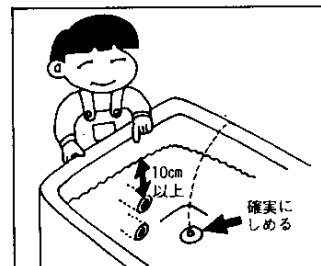
パイロット安全装置

風が異常に強い場合等に作動しパイロットが消え、ガスが自動的に止まる場合があります。このときは風が弱まる迄待つてからご使用ください。



風呂釜過熱防止スイッチ

浴そうに水を入れ忘れたときや、少々ながったときは、異常温度を検知しガスをとめてしまいます。このときは、約15分程まってから水を上部水管より上へ10cm入れて、水がもれていないかを確認し、異常がないのを確かめてから再点火してご使用ください。



日常の点検とお手入れ

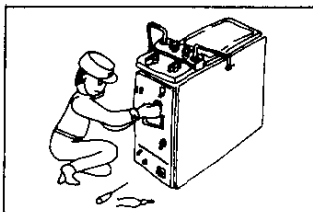
点検・お手入れの際のご注意

日常の点検、お手入れは必ず行ってください。

点検、お手入れは、やけどをしないように器具が十分に冷えてからしてください。

点検とお手入れ法

①給湯器が古くなると熱交換器や、バーナーにサビや黒いスス等がつまって不完全燃焼の原因になります。3年に一度ぐらいは掃除が必要です。お買い求めの大阪ガスサービスショップ、風呂ショップか大阪ガスにお申し込みいただければ有償でお受けいたします。



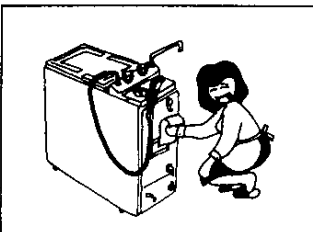
②風呂熱交換器の掃除

ときどき浴そう内の湯当りをはずしてゴムホースで強く水を入れて、熱交換器の内部を水洗いしてください。下の循環口から水アカ等がでてきます。ごととこまなりがしたり、湯アカが熱交換器内からでてくるのは内部がよれているからです。



③外観の掃除

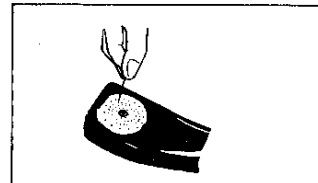
よこれには、やわらかい布に中性洗剤をつけて落とし、後をやわらかな布で空ぶきしてください。タワシなどで強くこするとキズがつきサビ等の原因になりますからご注意ください。



日常の点検とお手入れ②

4 シャワーヘッドのお手入れ

シャワーヘッドの噴出口がつまりますと湯量がへったり、バーナーに火がつかなかったりしますので、ときどき針などでお掃除して通水を良くしてご使用ください。



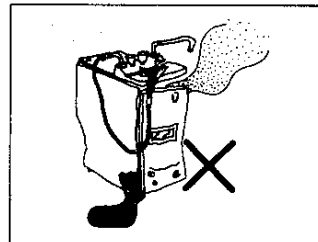
⑤浴そうやタイルのみがき用薬品をご使用のとき、器具本体に原液が附着しますと腐蝕をいちじるしく促進させますのでご注意ください。

点検の結果

故障または、破損したと思われるものは絶対に使用しないでください。

不完全な修理は危険です。

万一具合が悪くなって処置にこまるような場合はお買い求めになった大阪ガスサービスショップ、風呂ショップか大阪ガスまでご連絡ください。



故障・異常の見分け方と処置方法

原因	現象	処置方法	参照ページ
ガス元せん開き不十分	○	点火つまみをいったん閉じてからガス元せんを全開にする	11
ガス元せんの開け忘れ	○ △ △ △ △ △ ○	ガス元せんを開ける☆	11
ガスが来ていない	○	LPガスボンベを交換する	11
LPガスがなくなりがけている	△ △ △ △ △ △	十分空気抜きを行う	11
配管内に空気が残っている	○ △ △ △ △ △ △	他の器具も同様なら点検を依頼する	11
ガス圧が低い	△ △ ○ ○ △ △ △ △	直すか、交換する ☆	11
ガス圧が高い	△ △ △ △ △ △ △ △	点検を依頼する	11
ゴム管の折れ曲りつぶれ	△ △ △ △ △ ○ △	直すか、交換する ☆	11
配管中に水が入っている	○ △ △ △ △ △ △	水元せんを開ける ☆	11
水元せんの開け忘れ		水元せんを十分に開ける ☆	11
水元せんの開き不十分	△ △ △ △ △ ○ ○ ○ △	点検を依頼する	6
水圧が低い	△ △ △ △ △ ○ ○ ○ △	点検を依頼する	6
水圧が高い	△ △ △ △ △ △ △ △	つまり除去または依頼	11
水ストレーナつまり	△ △ △ △ △ ○ ○ △ △	回復を待つ ☆	11
断水している	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	点検を依頼する	11
水配管の容量不足	△ △ △ △ △ ○ ○ ○ ○	解凍するまで待つ ☆	15
凍結している	△ △ △ △ △ △ △ △	空気を追い出す ☆	7
水配管中に空気が入っている	△ △ △ △ △ △ △ △	○ 正しく設置する	10

故障・異常の見分け方と処置方法②

原因	現象	処置方法	参照ページ
上部循環パイプ下り勾配	○	点検・改修を依頼する	11
循環パイプのねじれつぶれ	○	点検・改修を依頼する	11
給排気箇工事の不適当	△ △ △ △ △ △	点検・改修を依頼する	11
点火装置電極部汚れ	○	汚れを拭きとる・依頼する	11
バーナー炎口つまり空気口つまり	△ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △	つまりを取り除く・依頼する	12
炎検出部汚れ	○	汚れを拭きとる依頼する	11
熱交換器目つまり	△ △ △ △ △ △ △ △ △ △	目つまりを取り除く・依頼する	12
点火つまみを離すのが早い(サーモカップルの過熱不足)	○	取扱説明書参照 ☆	11
湯温、湯量調節	○ ○	取扱説明書参照 ☆	13
シャワー・湯つまり開き不足	○ ○	全開にして使用する☆	12
浴そうの水が少ない	○	浴そうに水を加える☆	13
安全装置が作動した	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	点検を依頼する	16
点火装置の故障	○	点検・修理を依頼する	11
パイロット安全装置の故障	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	点検・修理を依頼する	11

☆印の場合は、自分の手で簡単にできます。
 ㊦印またはその他ご不審な点は、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。なおご連絡いただくときは、器具に貼付してありますコード番号をお知らせください。

コード銘板例 **(4)31-860(U)**
 大阪ガス株式会社

保 管(長期間使用しない場合)

- 1 水道の元せんをしめてから器具内の水を抜いてください。(15ページ水抜き法参照)
- ② ガスの元せんをしめ、点火つまみもしめます。
- ③ 浴そうの水も抜いてください。

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- ・19ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
- ・確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないで買い上げの店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。
 - (1)品名…ガス風呂釜(ガスバランス型外だし釜)
 - (2)番番…前板左下側に貼付してあります。
 - (3)現象…(できるだけ詳しく)
 - (4)道順…(できるだけ詳しく)

例

(4)31-860(U)
大阪ガス株式会社

転居される場合

- ・ガスには都市ガス14種類およびLPガスの区分があります。ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証書について

- ・この器具には保証書がついています。このガスバランス型外だし釜は保証書に記載のように器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

特 長

● バランスド・フルー方式

燃焼に必要な空気は直接外から吸入し、燃焼ガスは直接外へ排出するバランスド・フルー方式ですから、浴室内の空気が汚れず衛生的です。給排気筒(バランストップ)の設置だけで、排気筒や換気口は不要ですから浴室設計上の制約が少ない風呂釜です。

● 給湯器(瞬間式)を内蔵

一つのキャビネットに、釜だし用バーナーとその熱交換器、それに給湯用バーナーとその熱交換器を内蔵しています。釜だきのほかに、浴室内の給湯(シャワー、浴そうへの給湯、上がり湯)ができます。

● 耐久性にすぐれています。

本体ケース関係は、すべてステンレスを使用していますから、耐久性にすぐれています。

● 釜だし・給湯同時使用

釜だきと浴そうへの給湯が同時に使用でき、一段と便利さが増しました。

〈ご注意〉

- ・釜だきと給湯(シャワー)を同時に使用するときは、給湯(シャワー)のお湯の温度がさがることがあります。
- ・最初は浴そうへ給湯してください。もし浴そうへ水を入れてから沸す場合は、時間が長くなります。

● 能力切替可能な給湯器

給湯器のバーナーは、水温に合わせて3段階に調節できる能力切替方式を採用しています。年間を通して快適なシャワーが楽しめます。

● すべての操作が浴室内でできます。

点火・消火・湯かげん・給水・シャワー・追いだきのすべてが浴そうの中からもできるように、操作部はすべて釜の上部にまとめています。操作は簡単です。

● 据え付けが簡単

釜幅約23cmとコンパクトで、しかも浴室のどの壁面にも取付けることができます。据え付け作業はすべて浴室内からできますので、足場などは不要です。標準設計のほかにチャンバー方式などの各種の給排気方式があり、建築条件に合わせて設置できます。

特長②

●安全の為に次のような装置が組込まれています。

・パイロット安全装置(熱電対式)

パイロットバーナーに点炎されないがぎり、メインバーナーにガスが流れず、
万一パイロットバーナーが消えた場合でも機器内のガスは、すべて自動的に止
まります。

・風呂釜過熱感知スイッチ

浴そうへ水を入れ忘れた時や空だきの恐れがある低水位になった場合、異常温度を検出して機器内のガスはすべて自動的に止まります。

- ・ガス圧自動安定装置

地域や時間によって変動するガスの圧力を常に一定に保ち、バーナーの炎を安定に燃やす働きをします。

・水压自動安定裝置

水圧の変動で湯温が変化するのを防ぎ、ガス圧調整器の作動を助ける役目をしますから温度の安定したお湯を使うことができます。

・凍結予防・水抜き装置

給湯器内に残った水が凍って、器具の破損や作動不良になることを予防します。
寒冷地でも安心してお使いいただけます。

凍結予防装置の操作手順15頁参照してください。)

・異常圧力逃し装置(ブローバルブ)

万一、給湯器に異常な沸騰現象が起き、給湯器水・湯回路の内圧が、異常に上昇した場合、その圧力を逃がす(排水動作)装置です。

・給湯器過熱感知スイッチ

万一、給湯器が異常な温度になるとその異常な温度を感知し、ガスを止めてしまいます。

・温度ヒューズ

万一、熱交換器のフィン詰りやバランストップ周辺の設置不良などにより炎があふれた時、その炎を感知して機器内のガスをすべて止めてしまいます。

*この装置は機器が異常状態のときに作動します。自動復帰しませんので専門家の点検を必要とします。

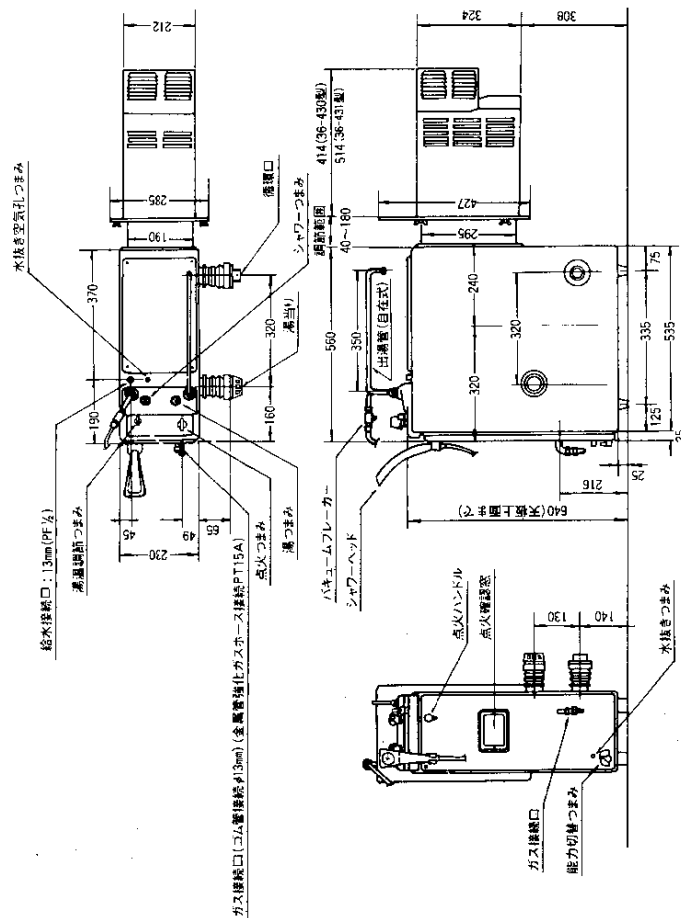
●圧電式点火方式です。

●空氣調節

固定式の空気調節がしてありますので、そのままお使いになれます。

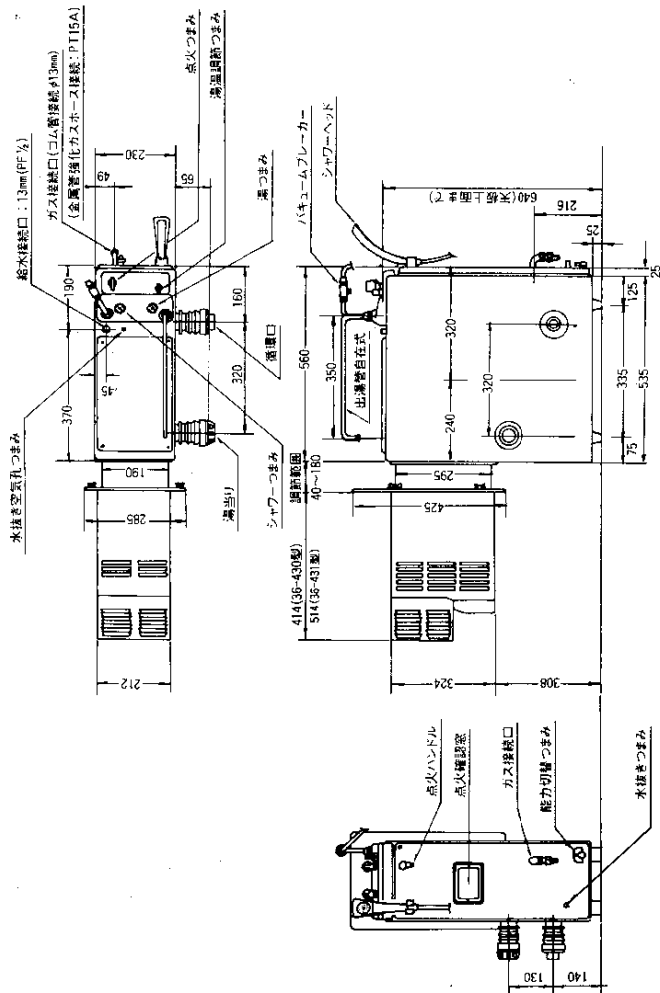
仕 様

■寸法図 右水管



仕様②

■寸法図 左水管



仕様③

■仕様一覧表

外形寸法 (mm)		幅230×奥行560×高さ640			
標準ガス消費量	インプット (同時点火時)	6 C	6 A	13 A	LPGガス
		20,000kcal/h	20,000kcal/h	20,000kcal/h	1.67kg/h
	風呂釜(追いだき用)	8,400kcal/h	8,400kcal/h	8,400kcal/h	0.70kg/h
	給湯側	12,400kcal/h	12,400kcal/h	12,400kcal/h	1.03kg/h
安全装置		パイロット安全装置 温度ヒューズ(発熱気温度感知式) 凍結予防装置 異常圧力遮断装置 風呂釜過熱感知スイッチ(バイメタル式) 給湯器過熱感知スイッチ(バイメタル式) バキュームブレーカー			
給・排気方式		バランスドフルー式			
接続口径	ガス	金属管・強化ゴム管 15A(PT1/2オネジ)			
	給水	ゴム管接続 13mm 15A(PF1/2オネジ)			
シャワー		ホース長さ 1,300mm			
重量		本体 20kg 給排気筒 200型 4.6kg			
給排気筒	200型	壁の厚み 40mm~180mm			
	300型	180mm~280mm			
付属部品		循環口部品一式			

●最低作動水圧

- 水圧(作動水圧)最適水圧0.7kg/cm²~5kg/cm²
- 上昇温度と出湯量(水圧1kg/cm²の場合)

上昇温度(℃)	25℃上昇	40℃上昇	45℃上昇
出湯量(ℓ/分)	6.5	4.0	3.6

※ガスの種類により出湯量は多少異なります。

おねがい

ガスくさいときは、お部屋の元せんを閉め、窓を全開してから（火気に注意して）大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。

メモ

本社・支社所在地および電話番号

本 社	大阪市東区平野町5-1	電話大阪	06(202)2221 541
ガス サービス センター			
南 北	大阪市西成区玉出東2-9-41	電話大阪	06(552)0001 557
支 社	大阪市淀川区十三本町3-6-35	電話大阪	06(301)1251 532
支 社	堺市住吉橋町2-2-19	電話堺	0722 (38)1131 590
支 社	高槻市藤の里町39-6	電話高槻	0726 (71)0361 569
支 社	西宮市和上町4-11	電話西宮	0798 (26)3101 562
支 社	東大阪市桶狭2-3-17	電話河内	0729 (62)1131 578
支 社	枚方市西田宮町16-17	電話枚方	0720 (41)1251 573
支 社	神戸市中央区相生町5-13-10	電話神戸	078(576)5231 550
支 社	京都市中京区烏丸御池梅屋町358	電話京都	075(231)8151 504
支 社	奈良市学園北2-4-1	電話奈良	0742 (44)1111 531
支 社	和歌山市本町1-1-1	電話和歌山	0734 (31)2481 540
支 社	姫路市神屋町4-8	電話姫路	0792 (85)2221 570
支 社	加古川市加古川町東津29-1	電話加古川	0794 (21)1801 575
支 社	豊岡市三坂町6-57	電話豊岡	07962 (31)2221 568
支 社	草津市湯分町字荒瀬680-1	電話草津	0775 (62)5311 525
支 社	彦根市大車町12-11	電話彦根	0749 (22)3131 522
支 社	長浜市南銭取町3-4	電話長浜	07496 (2)7171 526

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

- ガス機器をご使用のときは、換気にご注意ください。
- お使いになったあとは、器具せん(元せん)だけでなくガスの元せんもかならずしめましょう。
- ゴム管は、良質の大阪ガス製  マーク入りのものを、そしてコックについている赤線のところまで深くさしこみ、必ずゴム管止めでしめつけましょう。
- お使いにならない鉄管先の元せんにはゴムキャップをかぶせておきましょう。

大阪ガス株式会社